

桃李の里



会津若松に行ってきました！



10月14日(水)3・4年生は見学学習として、5・6年生はフィールドワークとして会津若松に行ってきました。素晴らしい天気にも恵まれ、子どもたちは楽しそうでした。

学校を抜け出し、紅葉し始めた自然の山々を堪能したり、飯盛山を見学し白虎隊の壮絶な歴史に触れたり、絵付け体験をして会津の歴史と伝統を体験したりと盛りだくさんの内容でした。

教室の授業だけでは身に付けることのできない学びであり、子どもたちの見方や考え方を成長させる良い機会になりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため宿泊活動を行わず、その代わりとして今回の活動に変更させていただきました。保護者の皆様には、御理解と御協力をいただいたことに、心より厚く感謝申し上げます。

今後も実施可能な範囲を探りながら、子どもたちが、行事等を通して今しか味わうことのできない学びができるように努めて参ります。



習慣

PHP11月号の巻末に興味深い内容がありましたので引用します。(太字、下線は、白土による。) ※PHP11月号 No.870より引用

一日を通して、私たちは驚くほどの選択を重ねている。コーヒーか紅茶かの選択から仕事の決断まで、大小数えきれない。ただし、研究者によると、実は一日の選択の半分は習慣に従っているだけ、いわば脳の自動操縦に頼っているのだという。

そう考えると、日頃の私たちの選択は危ういものとはいえないだろうか。高い意識で習慣として励行するものもある一方、ゴミの投げ捨てるように、不適切さに鈍感になっていることも充分ありえる。

となれば、自分がどんな価値観のもと、何を習慣にするかという意識こそ重要であろう。もし自分が自堕落な習慣に依存するままであれば、いくら時間があっても成長は望めまい。

一流の人が、食事から睡眠、余暇に至るまで、己を律しているのは高い目的意識のゆえである。それに比して、心地よくもためにならなければやはり悪習に過ぎない。またつまらない習慣ほど簡単に身につくという。

習慣はすべて意識の産物である。何を目的として、何を習慣にすべきか。自分の心に問いかけたい。

4月から半年が過ぎようとしていますが、お子様の様子はいかがでしょう。学校では、望ましい基本的な生活習慣を身に付けさせてあげようと担任の先生を中心に努めておりますが、学校だけでは上の文にもあるように難しいようです。特に、印象的なのが、「つまらない習慣ほど簡単に身につく」という部分です。今後も保護者様と同じチームとして、子どもたちに望ましい基本的な生活習慣を身につけさせてあげられるよう努めて参りますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



【校長のつぶやき】

- 佐藤 結希(さとう ゆずき)さんは、新体カテストの20mシャトルランで高学年にも負けることなく、素晴らしい結果を残すことができました。「もっと、がんばろう」とする気持ちがすごい！